

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	32	事業名	商工会マネジメント機能強化事業				戦略コード	4	戦略名	機能的・効率的な商工会
担当部署	総務部	担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	16	施策名	変化に対応した組織機構の見直しと県連合会サポート機能強化	

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

社会・経済情勢の変化により小規模事業者の経営環境が厳しさを増す中で、事業者ニーズに対応し商工会の使命を果たすことが求められており、各商工会・県連合会が一体となった組織体制が必要となっている。

2. 事業のねらい

商工会における管理職の権限や機能を明確化し、事務局管理体制の強化を通じて、きめ細かい日常的な業務の進捗管理、OJTなどの人材育成を行うことをねらいとする。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	A	H30	A	R1	A	R2	A
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

副事務局長の役割が組織内に浸透し、組織全体のマネジメント機能が強化された。また、副事務局長（法定経営指導員）が中心となり、経営発達支援計画や事業継続力強化支援計画の策定・認定につながった。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

組織マネジメント研修等を通じて、事務局長・副事務局長・事務長のマネジメント力の強化を図っていく。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
74	商工会事務局管理体制の見直し	新任副事務局長・事務長を対象とした研修(eラーニング)を実施し、新たに8名の法定経営指導員を養成した。	a	a	a	A
75	個別対応から組織全体での対応へのシフト	組織マネジメントをテーマとした総轄者研修を開催し、チームで仕事を進める組織風土を醸成した。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード						取組コード						取組コード					
指標名						指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

〈評価の理由〉

副事務局長制度が定着し、事務局長を中心とした事務局体制が確立しつつある現状を踏まえ、副事務局長の果たすべき役割が重要となってきたことから、本事業は必要である。

【有効性の観点】事業目標の達成状況

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

チームで仕事をする仕組みが確立され、各商工会の成果創出につながっていることから、本事業は有効である。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

各商工会の事務局長を中心とした組織体制が確立されたことにより、事務局運営が効率的に行われるようになった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

事務局長、副事務局長、指導職、事務職それぞれの役割が明確となり、総轄者研修等を通じて組織マネジメント力の強化を図ることができた。また、指導職、事務職の垣根を越えてチームで成果を出す風土が醸成された。

3. 課題

副事務局長のマネジメント力をこれまで以上に高めていくとともに、次の管理職候補の育成を図る必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

副事務局長を対象とした研修会を行い、組織マネジメント力の強化を図るとともに、中堅指導員を対象とした研修を行い、次の管理職の育成を図る。